

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

中央自動車道富士吉田線(東京都杉並区上高井戸から山梨県富士吉田市上吉田まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道富士吉田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間	東京都杉並区上高井戸	から
	山梨県富士吉田市上吉田	まで

(ロ) 延 長	93.9	キロメートル
---------	------	--------

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

東京都杉並区 東京都三鷹市	から まで	第 1 種 第 3 級 (道路構造令)
東京都三鷹市 東京都八王子市	から まで	第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
東京都八王子市 山梨県富士吉田市	から まで	第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

別 紙 1

(ロ)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
東京都杉並区	から	60	4.9	
東京都三鷹市	まで			
東京都三鷹市	から	120	21.7	
東京都八王子市	まで			
東京都八王子市	から	80	67.3	
山梨県富士吉田市	まで			

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20 及び TT - 43

(二)車線の幅員

区 分	車 線 の 幅 員	摘 要
環八 ～ 高井戸IC	3.25メートル	
高井戸IC ～ 三鷹市	3.50メートル	
三鷹市 ～ 八王子市	3.60メートル	
八王子市 ～ 富士吉田市	3.50メートル	

別 紙 1

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
東京都杉並区上高井戸	から	4車線	4車線	
山梨県北都留郡上野原町上野原	まで			
山梨県北都留郡上野原町上野原	から	6車線	6車線	
山梨県大月市大槻町花咲	まで			
山梨県大月市大槻町花咲	から	4車線	4車線	
山梨県富士吉田市上吉田	まで	(但し、河口湖町～富士吉田市の 一部は2車線)		

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
環八 ～ 高井戸IC	0.65	1.30	-	-	-	側帯 0.40
高井戸IC ～ 三鷹市	1.25	2.50	-	-	-	側帯 0.50
三鷹市 ～ 調布市	2.75	5.50	-	-	-	側帯 0.75
調布市 ～ 八王子市	3.25	6.50	-	-	-	側帯 0.75
八王子市 ～ 大月市	2.75 2.50	5.25	(2.75) 2.50	(1.25)	(4.00) (3.75)	側帯 0.75
大月市 ～ 河口湖町	2.50 2.95	5.45	2.50 2.70	1.00	3.50 3.70	側帯 0.50
河口湖町 ～ 富士吉田市	2.50 (1.75)	5.00 (3.50)	-	-	-	側帯 0.50 () 内は暫定
トンネル部分 (八王子市 ～ 大月市)	-	-	1.00 (0.75) 1.00	1.00 (0.75) 1.00	2.00 (1.50) 2.00	側帯 0.75 0.50
トンネル部分 (大月市 ～ 河口湖町)	- -	- -	0.75	0.75	1.50	側帯 0.50

()内は複合断面、2段書きは上段が上り線、下段が下り線

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

区分	中央帯標準幅員	摘要
環八 ～ 高井戸IC	1.8メートル	側帯幅員 0.40 メートル
高井戸IC ～ 三鷹市	2.5メートル	〃 0.50 メートル
三鷹市 ～ 調布市	3.0メートル	〃 0.75 メートル
調布市 ～ 八王子市	4.5メートル	〃 0.75 メートル
八王子市 ～ 上野原町	3.0メートル	〃 0.50 メートル
上野原町 ～ 大月市	4.3メートル	〃 0.75 メートル
大月市 ～ 河口湖町	3.0メートル	〃 0.50 メートル
河口湖町 ～ 富士吉田市	3.0メートル (-)	〃 0.50 メートル ()内は暫定

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
都道首都高速4号線	東京都杉並区	平面接続	本線
都道新宿府中線	東京都杉並区	立体接続	高井戸インターチェンジ
一般国道20号	東京都調布市	立体接続	調布インターチェンジ
都道川崎府中線	東京都府中市	立体接続	稲城インターチェンジ
一般国道20号	東京都国立市	立体接続	国立府中インターチェンジ
一般国道16号	東京都八王子市	立体接続	八王子インターチェンジ
一般国道468号 (首都圏中央連絡自動車道)	東京都八王子市	立体接続	八王子ジャンクション(仮称)
一般国道20号	神奈川県津久井郡相模湖町	立体接続	相模湖東出口インターチェンジ
一般国道20号	神奈川県津久井郡藤野町	立体接続	相模湖インターチェンジ
県道四日市場上野原線	山梨県北都留郡上野原町	立体接続	上野原インターチェンジ
一般国道20号	山梨県大月市	立体接続	大月インターチェンジ
中央自動車道 西宮線	山梨県大月市	立体接続	大月ジャンクション
県道都留インター線	山梨県都留市	立体接続	都留インターチェンジ
一般国道138号 (東富士五湖道路)	山梨県富士吉田市 及び 山梨県南都留郡河口湖町	平面接続	本線
一般国道139号	山梨県富士吉田市 及び 山梨県南都留郡河口湖町	立体接続	河口湖インターチェンジ

別 紙 1

(4) 工事予算

2,567億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 37 年 10 月 1 日

工事の完成予定年月日 平成 45 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 8,139百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

中央自動車道西宮線(山梨県大月市大月町花咲から山梨県東山梨郡勝沼町上岩崎まで)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道西宮線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 山梨県大月市大月町花咲 から

山梨県東山梨郡勝沼町上岩崎 まで

(ロ)延長 19.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 3 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山梨県大月市大月町花咲から	80	19.7	
山梨県東山梨郡勝沼町上岩崎まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山梨県大月市大月町花咲 から 山梨県東山梨郡勝沼町上岩崎 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	—	—	0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯幅員0.50メートル×2を含む)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
中央自動車道 富士吉田線	山梨県大月市大月町	立体接続	大月ジャンクション
一般国道20号	山梨県東山梨郡勝沼町	立体接続	勝沼インターチェンジ

(4)工事予算

697億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 44 年 4 月 1 日

工事の完成年月日 昭和 53 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 8,139百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中央自動車道西宮線(山梨県東山梨郡勝沼町上岩崎から山梨県韮崎市韮崎町まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道西宮線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 山梨県東山梨郡勝沼町上岩崎 から

山梨県韮崎市韮崎町 まで

(口)延 長 34.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 3 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山梨県東山梨郡勝沼町上岩崎 から 山梨県韮崎市韮崎町 まで	80	34.3	

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン 及び TT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
山梨県東山梨郡勝沼町上岩崎 から 山梨県韮崎市韮崎町 まで	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	—	—	—	側帯幅 0.50m含む
	1.75×2	3.50	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	—	—	—	側帯幅 0.50m含む
	1.75×2	3.50	—	—	—	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	—	—	—	側帯幅 0.50m含む
	1.25×2	2.50	—	—	—	

上段:山梨県東山梨郡勝沼町上岩崎から山梨県中巨摩郡昭和町大字西条まで

下段:山梨県中巨摩郡昭和町大字西条から山梨県韮崎市韮崎町まで

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯幅員0.50メートル×2を含む)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道137号	山梨県笛吹市	立体接続	一宮御坂インターチェンジ
一般国道358号	山梨県八代郡中道町	立体接続	甲府南インターチェンジ
一般国道20号	山梨県中巨摩郡昭和町	立体接続	甲府昭和インターチェンジ
中部横断自動車道	山梨県甲斐市	立体接続	双葉ジャンクション

(4)工事予算

1,135億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 46 年 6 月 1 日

工事の完成年月日 昭和 58 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 8,139百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中央自動車道西宮線(山梨県韮崎市穂坂町宮久保から愛知県春日井市西山町まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道西宮線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 山梨県韮崎市穂坂町宮久保 から

愛知県春日井市西山町 まで

(口)延長 219.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分

第 1 種	第 3 級	(道路構造令)
-------	-------	---------

(口)設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山梨県韮崎市穂坂町宮久保から 愛知県春日井市西山町まで	80	219.9	

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
山梨県韮崎市穂坂町宮久保	から	4車線	4車線	
愛知県春日井市西山町	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.50m含む
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
トンネル部分	———	———	0.75	0.75	1.50	側帯幅0.50m含む
	———	———	0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅0.50m含む
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅0.50m含む
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	

上段 : 山梨県韮崎市穂坂町宮久保から岐阜県中津川市千旦林まで

下段 : 岐阜県中津川市千旦林から愛知県春日井市西山町まで

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル(側帯0.50メートル×2を含む)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道葦崎昇仙峡線	山梨県葦崎市	立体接続	葦崎インターチェンジ
県道須玉インター線	山梨県北杜市	立体接続	須玉インターチェンジ
県道長坂高根線	山梨県北杜市	立体接続	長坂インターチェンジ
県道高根富士見線	山梨県北巨摩郡小淵沢町	立体接続	小淵沢インターチェンジ
県道諏訪南インター線	長野県諏訪郡富士見町	立体接続	諏訪南インターチェンジ
一般国道20号	長野県諏訪市	立体接続	諏訪インターチェンジ
中央自動車道 長野線	長野県岡谷市	立体接続	岡谷ジャンクション
一般国道153号	長野県上伊那郡辰野町	立体接続	伊北インターチェンジ
県道伊那インター線	長野県上伊那郡南箕輪村	立体接続	伊那インターチェンジ
県道駒ヶ根駒ヶ岳公園線	長野県駒ヶ根市 及び飯田市	立体接続	駒ヶ根インターチェンジ
県道松川インター大鹿線	長野県下伊那郡松川町	立体接続	松川インターチェンジ
一般国道153号	長野県飯田市	立体接続	飯田インターチェンジ
一般国道474号 (三遠南信自動車道)	長野県飯田市	立体接続	飯田南ジャンクション(仮称)
県道園原インター線	長野県下伊那郡阿智村	立体接続	園原インターチェンジ
一般国道19号	岐阜県中津川市	立体接続	中津川インターチェンジ

別 紙 1

県道恵那白川線	岐阜県恵那市	立体接続	恵那インターチェンジ
県道大西瑞浪線 県道瑞浪インター線	岐阜県瑞浪市	立体接続	瑞浪インターチェンジ
一般国道21号	岐阜県土岐市	立体接続	土岐インターチェンジ
一般国道475号 (東海環状自動車道)	岐阜県土岐市	立体接続	土岐ジャンクション
一般国道248号	岐阜県多治見市	立体接続	多治見インターチェンジ
県道春日井犬山線	愛知県小牧市	立体接続	小牧東インターチェンジ
第一東海自動車道	愛知県春日井市	立体接続	小牧ジャンクション

(4) 工事予算

4,237億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 34 年 2 月 5 日

工事の完成予定年月日 平成 20 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額

— 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 8,139百万円の内数)

別紙 1 - 5

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

中央自動車道西宮線(愛知県小牧市大字村中から滋賀県東近江市尻無町まで)に関する 工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道西宮線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 愛知県小牧市大字村中 から

滋賀県東近江市尻無町 まで

(口)延 長 87.8 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分

愛知県小牧市大字村中
岐阜県養老郡養老町橋爪 から 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

岐阜県養老郡養老町橋爪 から 第 1 種 第 2 級 及び 第 3 級(道路構造令)
滋賀県彦根市正法寺町 まで

滋賀県彦根市正法寺町 から 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
滋賀県犬上郡甲良町 まで

滋賀県犬上郡甲良町 から 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
滋賀県愛知郡秦荘町 まで

滋賀県愛知郡秦荘町 から 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
滋賀県東近江市尻無町 まで

別 紙 1

(ロ)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛知県小牧市大字村中	から	120	35.8	
岐阜県養老郡養老町橋爪	まで			
岐阜県養老郡養老町橋爪	から	80	31.8	
滋賀県彦根市正法寺町	まで			
滋賀県彦根市正法寺町	から	120	7.3	
滋賀県犬上郡甲良町	まで			
滋賀県犬上郡甲良町	から	100	4.3	
滋賀県愛知郡秦荘町	まで			
滋賀県愛知郡秦荘町	から	120	8.6	
滋賀県東近江市尻無町	まで			

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン

(二)車線の幅員 3.60メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
愛知県小牧市大字村中	から	4車線	4車線	
滋賀県東近江市尻無町	まで			

別 紙 1

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.75 × 2	5.50	2.75	1.25	4.00	
トンネル部分	———	———	0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.75 × 2	5.50	2.75	1.25	4.00	一部区間1.75 × 2
橋梁高架部分 (長大橋)	2.75 × 2	5.50	2.75	1.25	4.00	一部区間1.75 × 2

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道41号 県道高速名古屋小牧線	愛知県小牧市	立体接続	小牧インターチェンジ
一般国道22号 県道高速清洲一宮線	愛知県一宮市	立体接続	一宮インターチェンジ
東海北陸自動車道	愛知県一宮市	立体接続	一宮ジャンクション
一般国道258号	愛知県大垣市	立体接続	大垣インターチェンジ

別 紙 1

一般国道３６５号	岐阜県不破郡関ヶ原町	立体接続	関ヶ原インターチェンジ
北陸自動車道	滋賀県米原市	立体接続	米原ジャンクション
一般国道３０６号	滋賀県彦根市	立体接続	彦根インターチェンジ
一般国道４２１号	滋賀県東近江市	立体接続	八日市インターチェンジ

(4) 工事予算

496億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 34 年 2 月 5 日

工事の完成予定年月日 平成 21 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額) — 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 8,139百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中央自動車道長野線(長野県岡谷市川岸から長野県南安曇郡豊科町大字高家まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道長野線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 長野県岡谷市川岸 から

長野県南安曇郡豊科町大字高家 まで

(ロ) 延 長 33.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

長野県岡谷市川岸 から 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)
長野県塩尻市大字片丘 まで長野県塩尻市大字片丘 から 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
長野県南安曇郡豊科町大字高家 まで

別 紙 1

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
長野県岡谷市川岸	から	80	11.2	
長野県塩尻市大字片丘	まで			
長野県塩尻市大字片丘	から	100	22.2	
長野県南安曇郡豊科町大字高家	まで			

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20 及び TT - 43

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
長野県岡谷市川岸	から	4車線	4車線	
長野県南安曇郡豊科町大字高家	まで			

別 紙 1

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.5 0 × 2	5 . 0 0	2.5 0	1.0 0	3 . 5 0	側帯幅員 0.50m
	2.5 0 × 2	5 . 0 0	2.5 0	1.2 5	3 . 7 5	側帯幅員 0.75m
トンネル部分	-	-	0.7 5	0.7 5	1 . 5 0	
	-	-	1.0 0	1.0 0	2 . 0 0	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.5 0 × 2	5 . 0 0	2.5 0	1.0 0	3 . 5 0	
	2.5 0 × 2	5 . 0 0	2.5 0	1.2 5	3 . 7 5	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.7 5 × 2	3 . 5 0	1.7 5	1.0 0	2 . 7 5	
	1.7 5 × 2	3 . 5 0	1.7 5	1.2 5	3 . 0 0	

上段: 岡谷市川岸から 塩尻市大字片丘まで

[8 0 km/hr区間]

下段: 塩尻市大字片丘から 長野県南安曇郡豊科町大字高家まで

[1 0 0 km/hr区間]

(ト)中央帯の標準幅員

[8 0 km/hr区間] 3.0 0メートル(側帯0.5 0メートル× 2を含む)

[1 0 0 km/hr区間] 4.5 0メートル(側帯0.7 5メートル× 2を含む)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
中央自動車道 西宮線	長野県岡谷市	立体接続	岡谷ジャンクション
一般国道20号	長野県岡谷市	立体接続	岡谷インターチェンジ
一般国道20号	長野県塩尻市	立体接続	塩尻インターチェンジ
県道松本空港塩尻北インター線	長野県塩尻市	立体接続	塩尻北インターチェンジ
一般国道158号	長野県松本市	立体接続	松本インターチェンジ
県道豊科インター堀金線	長野県南安曇郡豊科町	立体接続	豊科インターチェンジ

(4)工事予算

1,875 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48 年 11 月 15 日

工事の完成年月日 平成 5 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 8,139百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**第一東海自動車道(東京都世田谷区砧公園から愛知県小牧市大字村中まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 東京都世田谷区砧公園 から

愛知県小牧市大字村中 まで

(ロ) 延 長 346.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

東京都世田谷区砧公園 から 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
神奈川県横浜市青葉区 まで神奈川県横浜市青葉区 から 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
神奈川県秦野市 まで神奈川県秦野市 から 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)
静岡県御殿場市 まで静岡県御殿場市 から 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
静岡県榛原郡吉田町 まで静岡県榛原郡吉田町 から 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)
静岡県菊川市 まで静岡県菊川市 から 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
愛知県岡崎市 まで愛知県岡崎市 から 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
愛知県小牧市 まで

別 紙 1

(ロ)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
東京都世田谷区砧公園	から	100	19.2	
神奈川県横浜市緑区長津田町	まで			
神奈川県横浜市緑区長津田町	から	120	27.8	
神奈川県秦野市平内久保	まで			
神奈川県秦野市平内久保	から	80	32.2	
静岡県御殿場市深沢	まで			
静岡県御殿場市深沢	から	100	108.8	
静岡県榛原郡吉田町	まで			
静岡県榛原郡吉田町	から	80	11.2	
静岡県菊川市加茂	まで			
静岡県菊川市加茂	から	100	103.6	ただし、静岡県浜松市の一部は80キロメートル/時とする
愛知県岡崎市丸山町	まで			
愛知県岡崎市丸山町	から	120	43.6	
愛知県小牧市大字村中	まで			

(ハ)設計自動車荷重 20トン

別 紙 1

(二)車線の幅員 3.60メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
東京都世田谷区砧公園	から	6車線	6車線	
神奈川県厚木市字岡田	まで			
神奈川県厚木市字岡田	から	4車線	4車線	
愛知県小牧市大字村中	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.25 × 2	6.50	3.25	1.25	4.50	側帯幅0.75m含む 一部の区間では左側路肩を 2.75メートルとしている
トンネル部分	——	——	0.75	0.75	1.50	側帯幅0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	3.25 × 2	6.50	3.25	1.25	4.50	側帯幅0.75m含む 一部の区間では左側路肩を 2.75メートルとしている
橋梁高架部分 (長大橋)	3.25 × 2	6.50	3.25	1.25	4.50	側帯幅0.75m含む 一部の区間では左側路肩を 2.75メートルとしている

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
都道環状8号線 都道首都高速3号線	東京都世田谷区	立体接続 平面接続	東京インターチェンジ 本線
市道野川菅生線	神奈川県川崎市	立体接続	東名川崎インターチェンジ
一般国道16号	神奈川県横浜市	立体接続	横浜町田インターチェンジ
第一東海自動車道	神奈川県海老名市	立体接続	海老名北ジャンクション (仮称)
一般国道129号 一般国道271号(小田原厚木道路)	神奈川県厚木市	立体接続	厚木インターチェンジ
第二東海自動車道 横浜名古屋線	神奈川県伊勢原市	立体接続	伊勢原ジャンクション(仮称)
一般国道255号	神奈川県足柄上郡大井町	立体接続	大井松田インターチェンジ
一般国道138号 県道御殿場箱根線	静岡県御殿場市	立体接続	御殿場インターチェンジ
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県御殿場市	立体接続	御殿場ジャンクション(仮称)
一般国道1号 県道沼津インター線	静岡県沼津市	立体接続	沼津インターチェンジ

別 紙 1

一般国道139号	静岡県富士市	立体接続	富士インターチェンジ
第二東海自動車道 横浜名古屋線(連絡路)	静岡県静岡市	立体接続	尾羽ジャンクション(仮称)
一般国道1号	静岡県静岡市	立体接続	清水インターチェンジ
県道中島南安倍線	静岡県静岡市	立体接続	静岡インターチェンジ
県道焼津森線	静岡県焼津市	立体接続	焼津インターチェンジ
県道島田吉田線	静岡県榛原郡吉田町	立体接続	吉田インターチェンジ
県道掛川浜岡線	静岡県菊川市	立体接続	菊川インターチェンジ
県道浜北袋井線	静岡県袋井市	立体接続	袋井インターチェンジ
県道磐田原インター線	静岡県磐田市	立体接続	磐田インターチェンジ
県道浜松環状線	静岡県浜松市	立体接続	浜松インターチェンジ
県道三ヶ日インター線	静岡県浜松市	立体接続	三ヶ日インターチェンジ
第二東海自動車道 横浜名古屋線(連絡路)	静岡県浜松市	立体接続	三ヶ日ジャンクション(仮称)
一般国道151号	愛知県豊川市	立体接続	豊川インターチェンジ
一般国道1号	愛知県岡崎市	立体接続	岡崎インターチェンジ

別 紙 1

第二東海自動車道 横浜名古屋線	愛知県豊田市	立体接続	豊田ジャンクション
県道豊田安城線	愛知県豊田市	立体接続	豊田インターチェンジ
県道日進瀬戸線(名古屋瀬戸道路)	愛知県日進市	立体接続	日進ジャンクション
県道名古屋長久手線 近畿自動車道 名古屋関線	愛知県名古屋市	立体接続	名古屋インターチェンジ
一般国道19号	愛知県春日井市	立体接続	春日井インターチェンジ

(4)工事予算

5,394億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

東京都世田谷区から

昭和 37 年 5 月 31 日

静岡県静岡市まで

静岡県静岡市から

昭和 38 年 10 月 26 日

愛知県豊川市まで

愛知県豊川市から

昭和 37 年 9 月 17 日

愛知県小牧市まで

工事の完成予定年月日

平成 25 年 3 月 31 日

別 紙 1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第一東海自動車道 26,016百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東海北陸自動車道（愛知県一宮市大和町北高井から岐阜県美濃市松森まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

東海北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 愛知県一宮市大和町北高井 から

岐阜県美濃市松森 まで

(口)延 長 32.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛知県一宮市大和町北高井	から	80	32.4	
岐阜県美濃市松森	まで			

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン

別 紙 1

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
愛知県一宮市大和町北高井	から	4車線	4車線	
岐阜県美濃市松森	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
中央自動車道 西宮線	愛知県一宮市	立体接続	一宮ジャンクション
県道岐阜稲沢線	愛知県一宮市	立体接続	一宮西インターチェンジ
県道萩原三条北方線	愛知県一宮市	立体接続	尾西インターチェンジ
一般国道22号	愛知県一宮市	立体接続	一宮木曽川インターチェンジ
一般国道21号	岐阜県各務原市	立体接続	岐阜各務原インターチェンジ
一般国道248号	岐阜県関市	立体接続	関インターチェンジ
一般国道475号 (東海環状自動車道)	岐阜県美濃市	立体接続	美濃関ジャンクション
県道岐阜美濃線	岐阜県美濃市	立体接続	美濃インターチェンジ

(4)工事予算

3,650億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 47 年 6 月 20 日

工事の完成予定年月日 平成 25 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額

— 億円)

(平成17年度下半期工事費 東海北陸自動車道 34,703百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東海北陸自動車道（岐阜県美濃市松森から岐阜県郡上市白鳥町那留まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

東海北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岐阜県美濃市松森 から

岐阜県郡上市白鳥町那留 まで

(ロ) 延 長 44.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岐阜県美濃市松森	から	80	44.0	
岐阜県郡上市白鳥町那留	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県美濃市松森	から	4車線	4車線	4車線化
岐阜県郡上市白鳥町那留	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	-	-	0.75	0.75	1.50	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	1.25	1.00	2.25	側帯幅 0.50m含む

美並～八幡間切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として0.5m拡幅する。
 八幡～大和間切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として1.0m拡幅する。
 大和～白鳥間切土部については、左側路肩を堆雪余裕幅として2.0m拡幅する。

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員 3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道156号	岐阜県郡上市美並町	立体接続	美並インターチェンジ
一般国道156号	岐阜県郡上市八幡町	立体接続	郡上八幡インターチェンジ
主地方道白鳥板取線	岐阜県郡上市大和町	立体接続	ぎふ大和インターチェンジ
一般国道158号(中部縦貫自動車道(油坂峠道路)) 県道白鳥明宝線	岐阜県郡上市白鳥町	立体接続	白鳥インターチェンジ

(4)工事予算

3,160億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54 年 3 月 18 日

工事の完成予定年月日 平成 23 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 東海北陸自動車道 34,703百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東海北陸自動車道（岐阜県郡上市白鳥町那留から岐阜県高山市荘川町猿丸まで）に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

東海北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岐阜県郡上市白鳥町那留 から

岐阜県高山市荘川町猿丸 まで

(ロ) 延 長 21.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岐阜県郡上市白鳥町那留	から	80	21.9	
岐阜県高山市荘川町猿丸	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県郡上市白鳥町那留	から	2車線	4車線	
岐阜県高山市荘川町猿丸	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	1.75×2 (1.75×2)	3.50 (3.50)	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	0.75×2 (1.25×2)	1.50 (2.50)	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2 (1.75×2)	2.50 (3.50)	-	-	-	側帯幅 0.50m含む

白鳥IC～高鷲TN間切土部については、左路肩を堆雪余裕幅として2.0m拡幅する。
 高鷲TN～荘川IC間切土部については、左路肩を堆雪余裕幅として3.0m拡幅する。
 白鳥IC～高鷲TN間盛土部については、左路肩を堆雪余裕幅として2.5m拡幅する。
 高鷲TN～荘川IC間盛土部については、左路肩を堆雪余裕幅として3.0m拡幅する。
 下段()は完成時

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員 -

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
主要地方道高鷲インター線	岐阜県郡上市	立体接続	高鷲インターチェンジ
一般国道158号	岐阜県高山市	立体接続	荘川インターチェンジ

(4)工事予算

979億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 63 年 10 月 2 日

工事の完成年月日 平成 12 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 東海北陸自動車道 34,703百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東海北陸自動車道（岐阜県高山市荘川町猿丸から岐阜県高山市清見町夏厩まで）に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

東海北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 岐阜県高山市荘川町猿丸 から
岐阜県高山市清見町夏厩 まで

(口)延長 18.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岐阜県高山市荘川町猿丸	から	80	18.9	
岐阜県高山市清見町夏厩	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 25トン、TT - 43トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県高山市荘川町猿丸	から	2車線	4車線	
岐阜県高山市清見町夏厩	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員 -

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道158号(中部縦貫自動車道(高山清見道路))	岐阜県高山市	立体接続	飛騨清見ジャンクション
一般国道158号	岐阜県高山市	立体接続	飛騨清見インターチェンジ

(4)工事予算

855億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 3 年 4 月 27 日

工事の完成年月日 平成 17 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 東海北陸自動車道 34,703百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東海北陸自動車道（岐阜県高山市清見町夏厩から富山県南砺市上中田まで）に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東海北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 岐阜県高山市清見町夏厩 から
 富山県南砺市上中田 まで

(ロ) 延 長 40.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
岐阜県高山市清見町夏厩	から	80	40.2	
富山県南砺市上中田	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
岐阜県高山市清見町夏厩	から	2車線	4車線	
富山県南砺市上中田	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員 -

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道156号	岐阜県大野郡白川村	立体接続	白川郷インターチェンジ

(4)工事予算

2,561億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 20 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額

— 億円)

(平成17年度下半期工事費 東海北陸自動車道 34,703百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東海北陸自動車道（富山県南砺市上中田から富山県南砺市天池まで）に関する
工事の内容並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

東海北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 富山県南砺市上中田 から

富山県南砺市天池 まで

(ロ) 延 長 16.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
富山県南砺市上中田	から	80	16.3	
富山県南砺市天池	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
富山県南砺市上中田	から	2車線	4車線	
富山県南砺市天池	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員 -

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道156号	富山県南砺市上中田	立体接続	五箇山インターチェンジ

(4)工事予算

809億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 3 年 1 月 31 日

工事の完成年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 東海北陸自動車道 34,703百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**東海北陸自動車道（富山県南砺市天池から富山県小矢部市水島まで）に関する
工事の内容並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

東海北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 富山県南砺市天池 から
 富山県小矢部市水島 まで

(ロ) 延 長 11.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
富山県南砺市天池	から	80	11.4	
富山県小矢部市水島	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
富山県南砺市天池	から	2車線	4車線	
富山県小矢部市水島	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00 × 2	6.00	-	-	-	側帯幅0.50m含む 堆雪余裕幅含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む 堆雪余裕幅含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅0.50m含む 堆雪余裕幅含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員 -

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道304号	富山県南砺市	立体接続	福光インターチェンジ
北陸自動車道 一般国道470号(能越自動車道)	富山県小矢部市	立体接続	小矢部砺波ジャンクション

(4)工事予算

396億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 54 年 3 月 18 日

工事の完成年月日 平成 8 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額

— 億円)

(平成17年度下半期工事費 東海北陸自動車道 34,703百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道 横浜名古屋線(神奈川県海老名市中野から神奈川県伊勢原市上粕屋まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

第二東海自動車道 横浜名古屋線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 神奈川県海老名市中野 から

神奈川県伊勢原市上粕屋 まで

(口)延 長 8.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県海老名市中野	から	120	8.9	
神奈川県伊勢原市上粕屋	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.75メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市中野	から	4車線	6車線	暫定施工
神奈川県伊勢原市上粕屋	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00×2 —	6.00 —	— —	— —	— —	側帯幅 0.75m含む
トンネル部分	— —	— —	— —	— —	— —	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	— —	— —	— —	— —	— —	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	3.125×2 —	6.25 —	— 3.125	— 1.25	— 4.375	側帯幅 0.75m含む

上段:海老名市中野から伊勢原市東富岡まで
下段:伊勢原市東富岡から伊勢原市上粕屋まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
第一東海自動車道	神奈川県海老名市	立体接続	海老名南ジャンクション(仮称)
一般国道129号	神奈川県厚木市	立体接続	厚木南インターチェンジ(仮称)
第一東海自動車道	神奈川県伊勢原市	立体接続	伊勢原ジャンクション(仮称)
一般国道246号 (厚木秦野道路)	神奈川県伊勢原市	立体接続	伊勢原北インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

4,466億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10 年 4 月 17 日

工事の完成予定年月日 平成 24 年 3 月 31 日

別 紙 1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第二東海自動車道 316,146百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道 横浜名古屋線(神奈川県伊勢原市上粕屋から神奈川県秦野市八沢まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第二東海自動車道 横浜名古屋線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 神奈川県伊勢原市上粕屋 から
神奈川県秦野市八沢 まで

(口)延長 13.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県伊勢原市上粕屋	から	120	13.5	
神奈川県秦野市八沢	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.75メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県伊勢原市上粕屋	から	4車線	6車線	暫定施工
神奈川県秦野市八沢	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m含む
トンネル部分	——	——	1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	3.125×2	6.25	3.125	1.25	4.375	側帯幅 0.75m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道246号	神奈川県秦野市	立体接続	秦野インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

3,488億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 12 年 1 月 12 日

工事の完成予定年月日 平成 26 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第二東海自動車道 316,146百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道 横浜名古屋線(静岡県御殿場市駒門から静岡県駿東郡長泉町大字元長窪まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第二東海自動車道 横浜名古屋線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 静岡県御殿場市駒門 から

静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 まで

(ロ) 延 長 13.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
静岡県御殿場市駒門 から	120	13.4	
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.75メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県御殿場市駒門 から 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 まで	4車線	6車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m含む
トンネル部分	——	——	1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	3.125×2	6.25	3.125	1.25	4.375	側帯幅 0.75m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

7.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
第一東海自動車道	静岡県御殿場市	立体接続	御殿場ジャンクション(仮称)

(4)工事予算

2,795億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 10 年 1 月 20 日

工事の完成予定年月日 平成 25 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第二東海自動車道 316,146百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第二東海自動車道 横浜名古屋線(静岡県駿東郡長泉町大字元長窪から愛知県東海市新宝町まで)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第二東海自動車道 横浜名古屋線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 から
愛知県東海市新宝町 まで

(口)延長 217.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分

静岡県駿東郡長泉町大字元長窪から	第	1	種	第	1	級	(道路構造令)
愛知県豊田市岩倉町山ノ神まで							
愛知県豊田市岩倉町山ノ神から	第	1	種	第	2	級	(道路構造令)
愛知県東海市新宝町まで							

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪	から	120	186.8	
愛知県豊田市岩倉町山ノ神	まで			
愛知県豊田市岩倉町山ノ神	から	100	30.7	
愛知県東海市新宝町	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.75メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県駿東郡長泉町大字元長窪 から 愛知県豊田市鷺鴨町稲荷山 まで	4車線	6車線	暫定施工
愛知県豊田市鷺鴨町稲荷山 から 愛知県東海市新宝町 まで	6車線	6車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m含む
	2.50×2	5.00	——	——	——	
トンネル部分	——	——	1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m含む
	——	——	——	——	——	
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m含む
	2.50×2	5.00	——	——	——	
橋梁高架部分 (長大橋)	3.125×2	6.25	3.125	1.25	4.375	側帯幅 0.75m含む
	2.50×2	5.00	——	——	——	

上段 : 静岡県駿東郡長泉町大字元長窪から愛知県豊田市岩倉町山ノ神まで
下段 : 愛知県豊田市岩倉町山ノ神から愛知県東海市新宝町まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

静岡県駿東郡長泉町大字元長窪から
5.00メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

愛知県南設楽郡鳳来町下吉田まで

愛知県南設楽郡鳳来町下吉田から
4.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

愛知県豊田市岩倉町山ノ神まで

愛知県豊田市岩倉町山ノ神から
3.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

愛知県東海市新宝町まで

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道1号(伊豆縦貫自動車道) 県道大岡元長窪線	静岡県駿東郡長泉町	立体接続	長泉沼津インターチェンジ(仮称)
一般国道139号(西富士道路) 県道一色久沢線	静岡県富士市	立体接続	富士インターチェンジ(仮称)
一般国道52号	静岡県静岡市	立体接続	清水インターチェンジ(仮称)
第二東海自動車道 横浜名古屋線(連絡路) 中部横断自動車道	静岡県静岡市	立体接続	吉原ジャンクション(仮称)
県道清水富士宮線	静岡県静岡市	立体接続	伊佐布インターチェンジ(仮称)
第一東海自動車道	静岡県静岡市	立体接続	尾羽ジャンクション(仮称)
県道井川湖御幸線 県道山脇大谷線	静岡県静岡市	立体接続	静岡インターチェンジ(仮称)
一般国道1号 県道静岡朝比奈藤枝線	静岡県藤枝市	立体接続	藤枝岡部インターチェンジ(仮称)

別 紙 1

一般国道473号	静岡県島田市	立体接続	金谷インターチェンジ(仮称)
県道掛川天竜線	静岡県掛川市	立体接続	森掛川インターチェンジ(仮称)
一般国道152号	静岡県浜松市	立体接続	浜北インターチェンジ(仮称)
第二東海自動車道 横浜名古屋線(連絡路)	静岡県浜松市	立体接続	引佐ジャンクション(仮称)
一般国道257号	静岡県浜松市	立体接続	引佐インターチェンジ(仮称)
第一東海自動車道	静岡県浜松市	立体接続	三ヶ日ジャンクション(仮称)
一般国道151号	愛知県新城市	立体接続	新城インターチェンジ(仮称)
一般国道473号	愛知県額田郡額田町	立体接続	額田インターチェンジ(仮称)
一般国道475号(東海環状自動車道)	愛知県豊田市	立体接続	豊田東ジャンクション
一般国道248号	愛知県豊田市	立体接続	豊田東インターチェンジ
第一東海自動車道	愛知県豊田市	立体接続	豊田ジャンクション
県道名古屋岡崎線	愛知県豊田市	立体接続	豊田南インターチェンジ
一般国道23号	愛知県豊明市	立体接続	豊明インターチェンジ
一般国道23号 市道高速2号	愛知県名古屋市	立体接続	名古屋南インターチェンジ
一般国道302号	愛知県大府市及び愛知県東海市	立体接続	大府インターチェンジ
一般国道302号	愛知県東海市	立体接続	東海インターチェンジ
一般国道302号(伊勢湾岸道路)	愛知県東海市	平面接続	本線

別 紙 1

(4) 工事予算

39,715 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 25 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第二東海自動車道 316,146百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中部横断自動車道(静岡県静岡市清水区吉原から山梨県南巨摩郡増穂町青柳町まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中部横断自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 静岡県静岡市清水区吉原 から
 山梨県南巨摩郡増穂町青柳町 まで

(ロ) 延 長 58.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
静岡県静岡市清水区吉原 から 山梨県南巨摩郡増穂町 青柳町 まで	80	58.4	

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
静岡県静岡市清水区吉原 から 山梨県南巨摩郡増穂町青柳 町 まで	2 車線	4 車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

—

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
第二東海自動車道 横浜名古屋線	静岡県静岡市	立体接続	吉原ジャンクション(仮称)
一般国道52号	山梨県南巨摩郡 南部町	立体接続	富沢インターチェンジ(仮称)
一般国道52号	山梨県南巨摩郡 南部町	立体接続	南部インターチェンジ(仮称)
県道市川大門下部身延線	山梨県南巨摩郡 身延町	立体接続	身延インターチェンジ(仮称)
県道市川大門下部身延線	山梨県西八代郡 六郷町	立体接続	六郷インターチェンジ(仮称)
一般国道52号	山梨県南巨摩郡 増穂町	立体接続	増穂インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

4,340 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 24 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 中部横断自動車道 9,255百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中部横断自動車道(山梨県南巨摩郡増穂町青柳町から山梨県甲斐市竜地まで)に関する
工事の内容並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中部横断自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山梨県南巨摩郡増穂町青柳町 から

山梨県甲斐市竜地 まで

(ロ) 延 長 16.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山梨県南巨摩郡 増穂町大柵 から 山梨県甲斐市 竜地 まで	80	16.0	

別 紙 1

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50 メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
山梨県南巨摩郡 増穂町大柵 山梨県甲斐市 竜地	から まで	2 車線	4 車線	暫定施工

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
トンネル部分	-	—	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅0.5m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

—

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道52号	山梨県南巨摩郡 増穂町	平面接続	増穂インターチェンジ(仮称)
主要地方道韮崎櫛形豊富線	山梨県 南アルプス市	立体接続	南アルプスインターチェンジ
主要地方道今諏訪北村線	山梨県 南アルプス市	立体接続	白根インターチェンジ
中央自動車道 西宮線	山梨県甲斐市	立体接続	双葉ジャンクション

(4)工事予算

936 億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 19 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額— 億円)

(平成17年度下半期工事費 中部横断自動車道 9,255百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北陸自動車道（富山県下新川郡朝日町月山から富山県富山市黒埼まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 富山県下新川郡朝日町月山 から
富山県富山市黒崎 まで

(口)延長 50.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
富山県下新川郡朝日町月山	から	1 0 0	5 0 . 2	
富山県富山市黒埼	まで			

(八)設計自動車荷重 TL - 20t及びTT - 43t

別 紙 1

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
富山県下新川郡朝日町月山	から	4車線	4車線	
富山県富山市黒埼	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	2.75×2	5.50	-	-	-	側帯幅 0.75m含む

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道8号	富山県下新川郡朝日町	立体接続	朝日インターチェンジ
県道若栗生地線	富山県黒部市	立体接続	黒部インターチェンジ
県道石垣魚津インター線	富山県魚津市	立体接続	魚津インターチェンジ
県道箕輪滑川インター線	富山県滑川市	立体接続	滑川インターチェンジ
県道富山立山魚津線	富山県中新川郡立山町	立体接続	立山インターチェンジ

(4) 工事予算

1,355億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 46 年 6 月 1 日

工事の完成予定年月日 昭和 59 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額) — 億円)

(平成17年度下半期工事費 北陸自動車道 86百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北陸自動車道（富山県富山市黒埼から福井県武生市庄町まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 富山県富山市黒埼 から
福井県武生市庄町 まで

(口)延長 153.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分

富山県富山市黒崎 から 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
富山県小矢部市平桜 まで

富山県小矢部市平桜
石川県金沢市金市町

から
まで

第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

石川県金沢市金市町 から 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
 石川県加賀市田尻町 まで

石川県加賀市田尻町 から 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)
福井県坂井郡丸岡町畑中 まで

福井県坂井郡丸岡町畑中 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
福井県武生市庄町 からまで

別 紙 1

(ロ)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
富山県富山市黒埼	から	100	36.3	
富山県小矢部市平桜	まで			
富山県小矢部市平桜	から	80	17.6	
石川県金沢市金市町	まで			
石川県金沢市金市町	から	100	43.4	
石川県加賀市田尻町	まで			
石川県加賀市田尻町	から	80	26.4	
福井県坂井郡丸岡町畑中	まで			
福井県坂井郡丸岡町畑中	から	100	29.8	
福井県武生市庄町	まで			

(ハ)設計自動車荷重 TL-20t及びTT-43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

別 紙 1

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
富山県富山市黒埼	から	4車線	4車線	
福井県武生市庄町	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m含む
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む)

別 紙 1

(チ) 他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道41号	富山県富山市	立体接続	富山インターチェンジ
県道新湊平岡線	富山県富山市	立体接続	富山西インターチェンジ
一般国道472号	富山県射水郡小杉町	立体接続	小杉インターチェンジ
一般国道359号	富山県砺波市	立体接続	砺波インターチェンジ
東海北陸自動車道 一般国道470号(能越自動車道)	富山県小矢部市	立体接続	小矢部砺波ジャンクション
県道小矢部福光線	富山県小矢部市	立体接続	小矢部インターチェンジ
一般国道8号	石川県金沢市	立体接続	金沢森本インターチェンジ
一般国道8号	石川県金沢市	立体接続	金沢東インターチェンジ
一般国道8号	石川県金沢市	立体接続	金沢西インターチェンジ
県道金沢美川小松線 県道鶴来美川インター線	石川県白山市	立体接続	美川インターチェンジ
県道金沢美川小松線	石川県小松市	立体接続	小松インターチェンジ
県道小松加賀線	石川県加賀市	立体接続	片山津インターチェンジ
県道加賀インター線	石川県加賀市	立体接続	加賀インターチェンジ
県道金津インター線	福井県あわら市	立体接続	金津インターチェンジ
県道丸岡インター線	福井県坂井郡丸岡町	立体接続	丸岡インターチェンジ

別 紙 1

一般国道158号(中部縦貫自動車道(永平寺大野道路)) 一般国道416号	福井県福井市	立体接続	福井北インターチェンジ
一般国道158号	福井県福井市	立体接続	福井インターチェンジ
県道鯖江インター線	福井県鯖江市	立体接続	鯖江インターチェンジ
県道武生インター線	福井県武生市	立体接続	武生インターチェンジ

(4) 工事予算

1,805億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 41 年 7 月 25 日

工事の完成年月日 平成 16 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 北陸自動車道 86百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**北陸自動車道（福井県武生市庄町から滋賀県米原市三吉まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

北陸自動車道

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 福井県武生市庄町 から
滋賀県米原市三吉 まで

(口)延長 80.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分

福井県武生市庄町 から 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)
滋賀県伊香郡木之本町大字黒田 まで

滋賀県伊香郡木之本町大字黒田 から 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
滋賀県長浜市常喜町 まで

滋賀県長浜市常喜町 から 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)
滋賀県米原市三吉 まで

別 紙 1

(ロ)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
福井県武生市庄町	から	80	57.0	
滋賀県伊香郡木之本町大字黒田	まで			
滋賀県伊香郡木之本町大字黒田	から	120	18.4	
滋賀県長浜市常喜町	まで			
滋賀県長浜市常喜町	から	100	5.2	
滋賀県米原市三吉	まで			

(ハ)設計自動車荷重 TL-20t及びTT-43t

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
福井県武生市庄町	から	4車線	4車線	
滋賀県米原市三吉	まで			

別 紙 1

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅0.75m含む 側帯幅0.50m含む
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅0.75m含む 側帯幅0.50m含む
	-	-	0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅0.75m含む 側帯幅0.50m含む
	2.50×2	5.00	2.50	1.00	3.50	
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅0.75m含む 側帯幅0.50m含む
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	

上段 : 滋賀県伊香郡木之本町大字黒田から滋賀県米原市三吉まで

下段 : 福井県武生市庄町から滋賀県伊香郡木之本町大字黒田まで

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む) 及び
3.00メートル (側帯 0.50メートル×2を含む)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道365号	福井県南条郡南越前町	立体接続	今庄インターチェンジ
一般国道8号	福井県敦賀市	立体接続	敦賀インターチェンジ
近畿自動車道 敦賀線	福井県敦賀市	立体接続	敦賀ジャンクション(仮称)
一般国道8号	滋賀県伊香郡木之本町	立体接続	木之本インターチェンジ
県道中山東上坂線	滋賀県長浜市	立体接続	長浜インターチェンジ
一般国道21号	滋賀県米原市	立体接続	米原インターチェンジ
中央自動車道 西宮線	滋賀県米原市	立体接続	米原ジャンクション

(4)工事予算

2,162億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 43 年 4 月 1 日

工事の完成年月日 平成 11 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額

— 億円)

(平成17年度下半期工事費 北陸自動車道 86百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道名古屋関線(愛知県名古屋市緑区大高町字北平部から愛知県名古屋市名東区猪高町大字高針まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1.工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道名古屋関線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 愛知県名古屋市緑区大高町字北平部 から

愛知県名古屋市名東区猪高町大字高針 まで

(ロ)延 長 9.8 キロメートル

(3)工事方法

(イ)道路の区分 第 2 種 第 1 級 (道路構造令)

(ロ)設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛知県名古屋市緑区大高町字北平部 から 愛知県名古屋市名東区猪高町大字高 針 まで	60	9.8	

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(ニ)車線の幅員 3.50メートル

別 紙 1

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
愛知県名古屋市緑区大高町字北平部 から 愛知県名古屋市名東区猪高町大字高 まで 針	4車線	4車線	

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.25 × 2	2.50	——	——	——	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	1.25 × 2	2.50	——	——	——	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.25 × 2	2.50	——	——	——	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	——	——	——	側帯幅 0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員

2.25メートル(側帯0.5メートル×2を含む 橋梁部)

2.25メートル(側帯0.5メートル×2を含む 土工部)

2.50メートル(側帯0.5メートル×2を含む 掘割部)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	有松インターチェンジ(仮称)
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	鳴海インターチェンジ(仮称)
一般国道302号 一般国道153号	愛知県名古屋市	立体接続	植田インターチェンジ(仮称)
市道高速1号四谷高針線	愛知県名古屋市	立体接続	高針ジャンクション
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	上社南インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

2,380億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 12 年 1 月 12 日

工事の完成予定年月日 平成 26 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道名古屋関線(愛知県名古屋市名東区姫若町から愛知県名古屋市中川区島井町まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道名古屋関線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 愛知県名古屋市名東区姫若町 から

愛知県名古屋市中川区島井町 まで

(口)延長 28.2 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 2 種 第 1 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛知県名古屋市名東区姫若町	から	60	28.2	
愛知県名古屋市中川区島井町	まで			

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

別 紙 1

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
愛知県名古屋市名東区姫若町 から	4車線	4車線	用地費は、アロケーションによる対象面積
愛知県名古屋市中川区島井町 まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	1.25×2	2.50	——	——	——	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	——	——	——	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.25×2	2.50	——	——	——	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	——	——	——	側帯幅 0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員

2.25メートル(側帯0.5メートル×2を含む 橋梁掘割部)

2.50メートル(側帯0.5メートル×2を含む 掘割部(支柱有))

2.50メートル(側帯0.5メートル×2を含む 矢田川トンネル部)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
第一東海自動車道	愛知県名古屋市	立体接続	名古屋インターチェンジ
県道名古屋長久手線	愛知県名古屋市	立体接続	本郷インターチェンジ
市道高速1号四谷高針線	愛知県名古屋市	立体接続	上社ジャンクション
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	上社インターチェンジ
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	引山インターチェンジ
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	大森インターチェンジ
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	小幡インターチェンジ
一般国道302号	愛知県春日井市	立体接続	松河戸インターチェンジ
一般国道302号	愛知県春日井市	立体接続	勝川インターチェンジ
一般国道302号	愛知県春日井市	立体接続	勝川インターチェンジ
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	楠インターチェンジ
市道高速2号 県道高速名古屋小牧線	愛知県名古屋市	立体接続	楠ジャンクション
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	山田東インターチェンジ
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	山田西インターチェンジ
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	平田インターチェンジ
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	清洲東インターチェンジ

別 紙 1

県道高速名古屋朝日線 県道高速清洲一宮線	愛知県名古屋市、清須市、西春日井郡春日町	立体接続	清洲ジャンクション
一般国道302号	愛知県清須市	立体接続	清洲東インターチェンジ
一般国道302号	愛知県清須市	立体接続	清洲西インターチェンジ
一般国道302号	愛知県海部郡甚目寺町	立体接続	甚目寺北インターチェンジ
一般国道302号	愛知県海部郡甚目寺町	立体接続	甚目寺南インターチェンジ
一般国道302号	愛知県海部郡大治町	立体接続	大治北インターチェンジ
一般国道302号	愛知県名古屋市	立体接続	大治南インターチェンジ
市道高速1号 近畿自動車道 名古屋関線	愛知県名古屋市	立体接続	名古屋西ジャンクション

(4) 工事予算

4,305億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 58 年 8 月 16 日

工事の完成予定年月日 平成 22 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額

— 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道名古屋関線(愛知県名古屋市中川区島井町から三重県亀山市木下町まで)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道名古屋関線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 愛知県名古屋市中川区島井町 から
三重県亀山市木下町 まで

(口)延長 55.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛知県名古屋市中川区島井町 から 愛知県海部郡七宝町大字伊福 まで	60	1.3	
愛知県海部郡七宝町大字伊福 から 三重県亀山市木下町 まで	80	53.8	

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
愛知県名古屋市中川区島井町 から	4車線	4車線	
三重県亀山市木下町 まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50×2	5.0	—	—	—	名古屋～桑名間 桑名～亀山間
	2.75×2	5.5	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.0	—	—	—	名古屋～桑名間 側帯幅0.5 桑名～亀山間 m含む
	2.75×2	5.5	—	—	—	
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.0	1.25	0.75	2.00	名古屋～桑名間 往復分離区間木曾川橋 及び揖斐長良川橋 側帯幅0.5 一部区間は一般国道302号 m含む から七宝料金所 桑名～亀山間
	一部 1.25×2	2.5				
	3.00×2	6.0				

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

2.25メートル (側帯0.5メートル×2を含む)

3.00メートル (側帯0.5メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道302号 県道中一色名古屋線 市道高速1号	愛知県名古屋市	立体接続 平面接続	名古屋西インターチェンジ
県道一宮蟹江線	愛知県海部郡蟹江町	立体接続	蟹江インターチェンジ
一般国道155号	愛知県海部郡弥富町	立体接続	弥富インターチェンジ
県道水郷公園線	三重県桑名市	立体接続	長島インターチェンジ
一般国道258号	三重県桑名市	立体接続	桑名東インターチェンジ
県道星川西別所線	三重県桑名市	立体接続	桑名インターチェンジ
近畿自動車道 名古屋神戸線	三重県四日市市	立体接続	四日市ジャンクション
県道上海老茂福線	三重県四日市市	立体接続	四日市東インターチェンジ
一般国道477号	三重県四日市市	立体接続	四日市インターチェンジ
県道神戸長沢線	三重県鈴鹿市	立体接続	鈴鹿インターチェンジ
近畿自動車道 名古屋神戸線(連絡路)	三重県亀山市	立体接続	亀山東ジャンクション(仮称)
一般国道1号 一般国道25号	三重県亀山市	立体接続	亀山インターチェンジ

別 紙 1

(4) 工事予算

1,512億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48 年 3 月 17 日

工事の完成年月日 平成 17 年 5 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道伊勢線 (三重県亀山市関町木崎から三重県久居市戸木町まで) に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 伊勢線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 三重県亀山市関町木崎 から

三重県久居市戸木町 まで

(ロ) 延 長 21.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
三重県亀山市関町木崎	から	100	21.1	
三重県久居市戸木町	まで			

(ハ) 設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン

別 紙 1

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県亀山市関町木崎	から	4車線	4車線	
三重県久居市戸木町	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	3.00×2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅 0.75m含む

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む)

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道25号	三重県亀山市	立体接続	関ジャンクション
近畿自動車道 名古屋関線	三重県安芸郡芸濃町	平面接続	伊勢関インターチェンジ
県道津関線	三重県安芸郡芸濃町	立体接続	芸濃インターチェンジ
県道津芸濃大山田線	三重県津市	立体接続	津インターチェンジ
一般国道165号	三重県久居市	立体接続	久居インターチェンジ

(4)工事予算

297億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 46 年 6 月 10 日

工事の完成年月日 昭和 56 年 9 月 17 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額

— 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道伊勢線（三重県久居市戸木町から三重県多気郡勢和村大字丹生まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 伊勢線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 三重県久居市戸木町 から

三重県多気郡勢和村大字丹生 まで

(ロ) 延 長 26.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

三重県久居市戸木町 から 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

三重県松阪市岩内町 まで

三重県松阪市岩内町 から 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

三重県多気郡勢和村大字丹生 まで

(ロ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
三重県久居市戸木町 から	100	12.0	
三重県松阪市岩内町 まで			
三重県松阪市岩内町 から	80	14.1	
三重県多気郡勢和村大字丹生 まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン、TT - 43トン及びB活荷重

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県久居市戸木町	から	4車線	4車線	
三重県松阪市岩内町	まで			
三重県松阪市岩内町	から	4車線	4車線	
三重県多気郡勢和村大字丹生	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.50m含む
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	
トンネル部分	-	-	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
	-	-	0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.50m含む
	1.75×2	3.50	1.75	1.00	2.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	1.75	1.25	3.00	側帯幅 0.50m含む
	1.25×2	2.50	1.25	1.00	2.25	

上段 : 三重県久居市戸木町から三重県松阪市岩内町まで

下段 : 三重県松阪市岩内町から三重県多気郡勢和村大字丹生まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

三重県久居市戸木町 から
4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む)
三重県松阪市岩内町 まで
三重県松阪市岩内町 から
3.00メートル (側帯 0.50メートル×2を含む)
三重県多気郡勢和村大字丹生 まで

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
主要地方道一志嬉野線	三重県松阪市	立体接続	一志嬉野インターチェンジ
主要地方道松阪第二環状線	三重県松阪市	立体接続	松阪インターチェンジ
一般国道42号	三重県多気郡勢和村	立体接続	勢和多気インターチェンジ
近畿自動車道 尾鷲勢和線	三重県多気郡勢和村	立体接続	勢和多気ジャンクション(仮称)

(4)工事予算

812億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 48 年 11 月 15 日
工事の完成年月日 平成 10 年 12 月 11 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道伊勢線（三重県多気郡勢和村大字丹生から三重県伊勢市楠部町まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 伊勢線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 三重県多気郡勢和村大字丹生 から

三重県伊勢市楠部町 まで

(ロ) 延 長 21.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

三重県多気郡勢和村大字丹生から 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

三重県伊勢市勢田町まで

三重県伊勢市勢田町から 第 1 種 第 4 級 (道路構造令)

三重県伊勢市楠部町まで

(ロ) 設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
三重県多気郡勢和村大字丹生	から	80	19.8	
三重県伊勢市勢田町	まで			
三重県伊勢市勢田町	から	60	1.8	
三重県伊勢市楠部町	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20トン及びTT - 43トン

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県多気郡勢和村大字丹生	から	4車線	4車線	
三重県伊勢市勢田町	まで			
三重県伊勢市勢田町	から	2車線	2車線	
三重県伊勢市楠部町	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

三重県多気郡勢和村大字丹生から
3.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)
三重県伊勢市勢田町まで
三重県伊勢市勢田町から
2.00メートル (側帯 0.5メートル×2を含む)
三重県伊勢市楠部町まで

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道度会玉城線	三重県度会郡玉城町	立体接続	玉城インターチェンジ
県道伊勢磯部線	三重県伊勢市	立体接続	伊勢西インターチェンジ
県道鳥羽松阪線	三重県伊勢市	平面接続	伊勢インターチェンジ

(4)工事予算

780億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 60 年 3 月 5 日
工事の完成年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道名古屋神戸線（愛知県海部郡飛島村木場から三重県四日市市伊坂町まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 名古屋神戸線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 愛知県海部郡飛島村木場 から

三重県四日市市伊坂町 まで

(口)延 長 19.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛知県海部郡飛島村木場	から	100	19.6	
三重県四日市市伊坂町	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル 及び 3.75メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
愛知県海部郡飛島村木場	から	6車線	6車線	
三重県四日市市伊坂町	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅 0.75m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道302号(伊勢湾岸道路)	愛知県海部郡飛島村	平面接続	本線
一般国道302号 県道名古屋西港線	愛知県海部郡飛島村	立体接続	飛島インターチェンジ
県道名古屋西港線	愛知県海部郡弥富町	立体接続	湾岸弥富インターチェンジ
県道境政成新田蟹江線	愛知県海部郡弥富町	立体接続	弥富木曽岬インターチェンジ
県道水郷公園線	三重県桑名市	立体接続	湾岸長島インターチェンジ
県道湾岸桑名インター線	三重県桑名市	立体接続	湾岸桑名インターチェンジ
一般国道23号	三重県三重郡川越町	立体接続	みえ川越インターチェンジ
県道四日市朝日線	三重県三重郡朝日町	立体接続	みえ朝日インターチェンジ
近畿自動車道 名古屋関線	三重県四日市市	立体接続	四日市ジャンクション

(4)工事予算

4,167億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道名古屋神戸線（三重県四日市市伊坂町から三重県三重郡菟野町大字音羽まで）に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 名古屋神戸線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 三重県四日市市伊坂町 から

三重県三重郡菰野町大字音羽 まで

(ロ) 延 長 12.6 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
三重県四日市市伊坂町	から	120	12.6	
三重県三重郡菰野町大字音羽	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル 及び 3.75メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県四日市市伊坂町	から	4車線	6車線	
三重県三重郡菰野町大字音羽	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	-	-	-	
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	-	-	-	
橋梁高架部分 (長大橋)	3.00×2	6.00	-	-	-	

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル (側帯 0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
近畿自動車道 名古屋関線	三重県四日市市	立体接続	四日市ジャンクション
一般国道475号(東海環状自動車道)	三重県四日市市	立体接続	四日市北ジャンクション(仮称)
一般国道477号	三重県三重郡菰野町	立体接続	菰野インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

1,688億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 26 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額

— 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道名古屋神戸線 (三重県亀山市安坂山町から滋賀県甲賀市甲賀町岩室まで) に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 名古屋神戸線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 三重県亀山市安坂山町 から

滋賀県甲賀市甲賀町岩室 まで

(口)延 長 18.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
三重県亀山市安坂山町	から	120	18.4	
滋賀県甲賀市甲賀町岩室	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル 及び 3.75メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県亀山市安坂山町	から	4車線	6車線	
滋賀県甲賀市甲賀町岩室	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	3.25 3.00	2.00 1.75	5.25 4.75	側帯幅 0.75m含む
トンネル部分	-	-	2.50	1.25	3.75	側帯幅 0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	-	-	3.25 3.125	2.00 1.25	5.25 4.375	側帯幅 0.75m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

7.50メートル

(側帯 0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
近畿自動車道(連絡路)	三重県亀山市	立体接続	亀山ジャンクション(仮称)
近畿自動車道 名古屋関線	三重県亀山市	立体接続	亀山東ジャンクション(仮称)

(4)工事予算

1,973億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 34 年 3 月 31 日

2.工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額

— 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道尾鷲勢和線（三重県尾鷲市大字南浦から三重県度会郡大紀町崎まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 尾鷲勢和線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 三重県尾鷲市大字南浦 から

三重県度会郡大紀町崎 まで

(口)延 長 31.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
三重県尾鷲市大字南浦	から	80	31.3	
三重県度会郡大紀町崎	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県尾鷲市大字南浦	から	2車線	4車線	
三重県度会郡大紀町崎	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50	1.75	1.00	2.75	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	0.75 × 2	1.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

-

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道425号	三重県尾鷲市	立体接続	尾鷲北インターチェンジ(仮称)
一般国道42号	三重県北牟婁郡海山町	立体接続	海山インターチェンジ(仮称)
一般国道422号	三重県北牟婁郡紀伊長島町	立体接続	紀伊長島インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

1,800億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 22 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額

— 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道尾鷲勢和線（三重県度会郡大紀町崎から三重県多気郡大台町大字菅合まで）に関する
工事の内容並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 尾鷲勢和線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 三重県度会郡大紀町崎 から

三重県多気郡大台町大字菅合 まで

(ロ) 延 長 10.5 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
三重県度会郡大紀町崎	から	80	10.5	
三重県多気郡大台町菅合	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県度会郡大紀町崎	から	2車線	4車線	
三重県多気郡大台町菅合	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員 -

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道紀勢インター線	三重県度会郡大紀町	立体接続	紀勢インターチェンジ(仮称)
一般国道42号	三重県多気郡大台町	立体接続	大宮大台インターチェンジ (仮称)

(4)工事予算

565億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 21 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額

— 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道尾鷲勢和線 (三重県多気郡大台町大字菅合から三重県多気郡勢和村大字丹生まで) に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 尾鷲勢和線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 三重県多気郡大台町大字菅合 から

三重県多気郡勢和村大字丹生 まで

(口)延長 13.4 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
三重県多気郡大台町大字菅合	から	80	13.4	
三重県多気郡勢和村大字丹生	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
三重県多気郡大台町大字菅合	から	2車線	4車線	
三重県多気郡勢和村大字丹生	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員 -

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道42号	三重県多気郡大台町	立体接続	大宮大台インターチェンジ (仮称)
一般国道42号	三重県多気郡勢和村	立体接続	勢和多気インターチェンジ
近畿自動車道 伊勢線	三重県多気郡勢和村	立体接続	勢和多気ジャンクション (仮称)

(4)工事予算

489億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 12 月 4 日

工事の完成予定年月日 平成 18 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期)

140 億円(うち、債務引受基準額 129 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**近畿自動車道敦賀線（福井県小浜市府中から福井県敦賀市高野まで）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

近畿自動車道 敦賀線

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 福井県小浜市府中 から
福井県敦賀市高野 まで

(口)延 長 38.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
福井県小浜市府中	から	80	38.9	
福井県敦賀市高野	まで			

(八)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

別 紙 1

(二)車線の幅員 3.50メートル

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
福井県小浜市府中	から	2車線	4車線	暫定施工
福井県敦賀市高野	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50×2	5.00	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
トンネル部分	1.25×2	2.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2	3.50	-	-	-	側帯幅 0.50m含む

(ト)中央帯の標準幅員 -

別 紙 1

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道上中田鳥線	福井県三方上中郡若狭町	立体接続	上中インターチェンジ(仮称)
一般国道27号	福井県三方上中郡若狭町	立体接続	三方インターチェンジ(仮称)
一般国道27号	福井県三方郡美浜町	立体接続	美浜インターチェンジ(仮称)
北陸自動車道	福井県敦賀市	立体接続	敦賀ジャンクション(仮称)

(4) 工事予算

2,356億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 25 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額) — 億円)

(平成17年度下半期工事費 近畿自動車道 67,955百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

中央自動車道富士吉田線(山梨県上野原市上野原から山梨県大月市大月町花咲まで)(改築)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道 富士吉田線

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 山梨県上野原市上野原 から
 山梨県大月市大月町花咲 まで

(ロ) 延 長 20.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ロ) 設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
山梨県上野原市 上野原 から 山梨県大月市 花咲 まで		80	20.7	

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 2.5tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル

別 紙 1

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
山梨県上野原市 上野原	から	2 車線	2 車線	片側を1車線ずつ増設し、4車線を6車線にする。
山梨県上野原市 大櫛	まで			
山梨県上野原市 野田尻	から			
山梨県上野原市 大野	まで			
山梨県大月市 富浜町鳥沢	から			
山梨県大月市 賑岡町強瀬	まで			
山梨県大月市 大月町花咲	から			
山梨県大月市 大月町花咲	まで			
山梨県上野原市 大野	から	3 車線	3 車線	トンネル区間は、分離構造とし、3車線トンネルを1本増設する。
山梨県大月市 富浜町鳥沢	まで			
山梨県大月市 賑岡町強瀬	から			
山梨県大月市 大月町花咲	まで			
山梨県上野原市 大櫛	から	6 車線	6 車線	上下線新設区間
山梨県上野原市 野田尻	まで			

別 紙 1

(へ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	両側拡幅区間		分離区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅0.75m含む
			2.70	1.25	3.95	
			2.50	1.25	3.75	
トンネル部分	-	—	1.00	1.00	2.00	0.75
			1.00	1.00	2.00	0.75
			1.00	1.00	2.00	0.50
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅0.75m含む
			2.70	1.25	3.95	
			2.50	1.25	3.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	側帯幅0.75m含む
			2.70	1.25	3.95	
			2.50	1.25	3.75	

上段:新設
中段:在来の上り線
下段:在来の下り線

(ト)中央帯の標準幅員

4.50	メートル	(一部 4.30 メートル)
		(側帯0.75 メートル×2を含む 土工部)
4.05	メートル	(側帯0.75 メートル×2を含む 橋梁部)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
県道四日市場上野原線	山梨県上野原市	立体接続	上野原インターチェンジ
一般国道20号	山梨県大月市	立体接続	大月インターチェンジ

(4) 工事予算

1,284 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 5 年 1 月 20 日

工事の完成年月日 平成 15 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 8,139百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道(神奈川県厚木市岡田から神奈川県足柄上郡大井町大字山田まで)(改築)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県厚木市岡田 から

神奈川県足柄上郡大井町大字山田 まで

(ロ) 延 長 22.9 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 道路の区分

神奈川県厚木市岡田 から 第 1 種 第 1 級 (道路構造令)
神奈川県秦野市南矢名 まで神奈川県秦野市南矢名 から 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)
神奈川県足柄上郡大井町大字山田 まで

別 紙 1

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県厚木市岡田	から	1 2 0	1 2 . 0	
神奈川県秦野市南矢名	まで			
神奈川県秦野市南矢名	から	8 0	1 0 . 9	
神奈川県足柄上郡大井町大字山田	まで			

(ハ)設計自動車荷重 TL - 2 0 及び TT - 4 3

(二)車線の幅員

(単位:メートル)

左側車線	中央車線	右側車線	摘要
3 . 5 0	3 . 7 5	3 . 5 0	

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県厚木市岡田	から	2 車 線	2 車 線	4 車 線 を
神奈川県足柄上郡大井町大字山田	まで			6 車 線 に 改 築

別 紙 1

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m含む
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00×2	6.00	-	-	-	側帯幅員0.75m含む
橋梁高架部分 (長大橋)	3.25×2	6.50	-	-	-	側帯幅員0.75m含む

(ト)中央帯の標準幅員

4.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道129号 一般国道271号(小田原厚木道路)	神奈川県厚木市	立体接続	厚木インターチェンジ
県道秦野二宮線	神奈川県秦野市	立体接続	秦野中井インターチェンジ

(4)工事予算

2,151億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 62 年 3 月 24 日

工事の完成年月日 平成 7 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第一東海自動車道 26,016百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道(神奈川県足柄上郡大井町大字山田から静岡県御殿場市大字東田中まで)(改築)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 神奈川県足柄上郡大井町大字山田 から
静岡県御殿場市大字東田中 まで

(口)延長 25.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分

神奈川県足柄上郡大井町大字山田から 第 1 種 第 2 級（道路構造令）
 静岡県御殿場市大字東田中まで

(口)設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県足柄上郡大井町大字山田から 静岡県御殿場市大字東田中まで	80	25.3	

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 TL - 20 及び TT - 43

(二)車線の幅員

(単位:メートル)

区 間	左側車線	中央車線	右側車線	摘要
両側拡幅区間及び別線新設区間	3.50	3.75	3.50	
別線現道区間(現上り線)	3.60	-	3.60	
別線現道区間(現下り線)	3.60	-	3.60	

(ホ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県足柄上郡大井町大字山田 から 静岡県駿東郡小山町大字竹之下 まで	3車線 (7)	3車線	上り線3車線を新設し 4車線を7車線とする。
静岡県駿東郡小山町大字竹之下 から 静岡県御殿場市大字東田中 まで	2車線 (6)	2車線	片側を1車線ずつ増設し 4車線を6車線とする。

別 紙 1

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	3.00 × 2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75mを含む。
	-	-	3.00	0.75	3.75	
	-	-	3.00	0.75	3.75	
トンネル部分	-	-	1.00	1.00	2.00	側帯幅員 0.75mを含む。
	-	-	1.00	1.00	2.00	
	-	-	1.00	1.00	2.00	
橋梁高架部分 (中小橋)	3.00 × 2	6.00	3.00	1.75	4.75	側帯幅員 0.75mを含む。
	-	-	3.00	0.75	3.75	
	-	-	3.00	0.75	3.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	3.00 × 2	6.00	3.00	1.25	4.75	側帯幅員 0.75mを含む。
	-	-	3.00	1.25	4.75	
	-	-	3.00	1.25	4.75	

上段: 両側拡幅区間及び別線新設区間

中段: 別線現道区間(現上り線)

下段: 別線現道区間(現下り線)

(ト)中央帯の標準幅員 4.50メートル(側帯0.75メートル×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道255号 県道御殿場大井線	神奈川県足柄上郡大井町	立体接続	大井松田インターチェンジ
一般国道138号	静岡県御殿場市	立体接続	御殿場インターチェンジ

別 紙 1

(4) 工事予算

1,763億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 58 年 6 月 29 日

工事の完成年月日 平成 8 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第一東海自動車道 26,016百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**第一東海自動車道(横浜青葉IC新設)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

神奈川県川崎市 から

神奈川県横浜市 まで

(3) 工事方法

他の道路との接続位置及び接続の方法

施設の名称	接続の位置	他の道路の 路線名	備 考
横浜青葉インターチェンジ	神奈川県 横浜市	一般国道246号	立体接続

(4) 工事予算

585 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 12 月 27 日

工事の完成年月日 平成 10 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額— 億円)

(平成17年度下半期工事費 第一東海自動車道 26,016百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**第一東海自動車道(神奈川県海老名市社家から神奈川県厚木市岡田まで)(改築)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

(イ)工事の区間 神奈川県海老名市社家 から

神奈川県厚木市岡田 まで

(口)延長 6.3 キロメートル

(3) 工事方法

(イ)道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

第 1 種 第 3 級

(口)設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県海老名市中野	から	80	3.2	
神奈川県海老名市中新田	まで			
神奈川県海老名市中新田	から	100	0.8	
神奈川県海老名市中新田	まで			

別 紙 1

(ハ)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(二)車線の幅員 3.50メートル
3.75メートル(追越車線)

(ホ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市中野	から	4車線	4車線	
神奈川県海老名市中新田	まで			

(ヘ)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	— —	— —	— —	— —	— —	
トンネル部分	— —	— —	— —	— —	— —	
橋梁高架部分 (中小橋)	— —	— —	— —	— —	— —	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75×2 2.50×2	3.50 5.00	— —	— —	— —	側帯幅0.50m含む 側帯幅0.75m含む

上段:海老名市中野から海老名市中新田まで

下段:海老名市中新田から海老名市中新田まで

別 紙 1

(ト)中央帯の標準幅員

3.00メートル(側帯0.50m×2を含む)

4.50メートル(側帯0.75m×2を含む)

(チ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
第一東海自動車道	神奈川県 海老名市	立体接続	海老名北ジャンクション(仮称)
一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)	神奈川県 海老名市	平面接続	本線
市道53号	神奈川県 海老名市	立体接続	海老名北インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

1,545億円

(5)工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 11 年 1 月 8 日

工事の完成予定年月日 平成 23 年 3 月 31 日

別 紙 1

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第一東海自動車道 26,016百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**第一東海自動車道(秦野中井IC新設)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

神奈川県秦野市

(3) 工事方法

他の道路との接続位置及び接続の方法

施設の名称	接続の位置	他の道路の 路線名	備 考
秦野中井インターチェンジ	神奈川県 秦野市	県道秦野二宮線	

(4) 工事予算

29 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 52 年 9 月 28 日

工事の完成年月日 昭和 56 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第一東海自動車道 26,016百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道(裾野IC新設)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

静岡県裾野市

(3) 工事方法

他の道路との接続位置及び接続の方法

施設の名称	接続の位置	他の道路の 路線名	備 考
裾野インターチェンジ	静岡県裾野市	県道裾野インター線	

(4) 工事予算

49 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 59 年 7 月 24 日

工事の完成年月日 昭和 63 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第一東海自動車道 26,016百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道(相良牧之原IC新設)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

静岡県榛原郡吉田町 から

静岡県菊川市 まで

(3) 工事方法

他の道路との接続位置及び接続の方法

施設の名称	接続の位置	他の道路の 路線名	備 考
相良牧之原インターチェンジ	静岡県榛原郡 相良町	県道相良金谷線	

(4) 工事予算

12 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 元 年 1 月 31 日

工事の完成年月日 平成 5 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額— 億円)

(平成17年度下半期工事費 第一東海自動車道 26,016百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道(掛川IC新設)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

静岡県菊川市 から

静岡県袋井市 まで

(3) 工事方法

他の道路との接続位置及び接続の方法

施設の名称	接続の位置	他の道路の 路線名	備 考
掛川インターチェンジ	静岡県掛川市	市道市立病院通り線	

(4) 工事予算

11 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 1 月 11 日

工事の完成年月日 平成 6 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第一東海自動車道 26,016百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

第一東海自動車道(浜松西IC新設)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

静岡県浜松市

(3) 工事方法

他の道路との接続位置及び接続の方法

施設の名称	接続の位置	他の道路の 路線名	備 考
浜松西インターチェンジ	静岡県浜松市	県道浜松環状線	

(4) 工事予算

13 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 46 年 12 月 14 日

工事の完成年月日 昭和 49 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第一東海自動車道 26,016百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**第一東海自動車道（東名高速道路 音羽蒲郡IC新設）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

愛知県宝飯郡音羽町

(3) 工事方法

他の道路との接続位置及び接続の方法

施設の名称	接続の位置	他の道路の 路線名	備 考
音羽蒲郡インターチェンジ	愛知県宝飯郡音羽町	県道長沢蒲郡線	

(4) 工事予算

29 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 53 年 10 月 4 日

工事の完成年月日 昭和 62 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第一東海自動車道 26,016百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**第一東海自動車道（東名高速道路 東名三好IC新設）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

第一東海自動車道

(2) 工事の区間

愛知県豊田市 から

愛知県名古屋市 まで

(3) 工事方法

他の道路との接続位置及び接続の方法

施設の名称	接続の位置	他の道路の 路線名	備 考
東名三好インターチェンジ	愛知県西加茂郡三好町	主要地方道 豊田知立線	

(4) 工事予算

15 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 平成 2 年 1 月 11 日

工事の完成年月日 平成 4 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 第一東海自動車道 26,016百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**中央自動車道西宮線（名神高速道路 岐阜羽島IC新設）に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

中央自動車道西宮線

(2) 工事の区間

岐阜県羽島市

(3) 工事方法

他の道路との接続位置及び接続の方法

施設の名称	接続の位置	他の道路の 路線名	備 考
岐阜羽島インターチェンジ	岐阜県羽島市	県道岐阜羽島インター線	

(4) 工事予算

35 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日 昭和 47 年 4 月 25 日

工事の完成年月日 昭和 58 年 3 月 31 日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

— 億円(うち、債務引受基準額 — 億円)

(平成17年度下半期工事費 中央自動車道 8,139百万円の内数)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道1号(新湘南バイパス)に関する

工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道1号

(有料道路名 : 新湘南バイパス)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県藤沢市城南 から
 神奈川県中郡大磯町東町 まで

(ロ) 延 長 13.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第 1 種 第 3 級 (道路構造令)

(ハ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県藤沢市城南 から 神奈川県中郡 大磯町東町 まで	80	13.7	

別 紙 1

(ニ)設計自動車荷重 TL - 20トン

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ヘ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県藤沢市城南 から 神奈川県中郡 大磯町東町 まで	4 車線	4 車線	

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	—	—	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 (中小橋)	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.25 × 2	2.50	—	—	—	

別 紙 1

(チ)中央帯の標準幅員

3.00メートル

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道1号 (新湘南バイパス)	神奈川県 藤沢市城南	平面接続	藤沢インターチェンジ
県道丸子中山茅ヶ崎線 (都市計画道路3-4-2)	神奈川県 茅ヶ崎市西久保	立体接続	茅ヶ崎中央インターチェンジ
一般国道1号	神奈川県 茅ヶ崎市下町屋	立体接続	茅ヶ崎西インターチェンジ
県道相模原茅ヶ崎線	神奈川県 茅ヶ崎市柳島	立体接続	茅ヶ崎海岸インターチェンジ
一般国道134号	神奈川県 平塚市高浜台	立体接続	平塚インターチェンジ(仮称)
一般国道134号	神奈川県中郡 大磯町東町	立体接続	大磯インターチェンジ(仮称)
一般国道1号 (西湘バイパス)	神奈川県中郡 大磯町東町	平面接続	大磯インターチェンジ(仮称)

(4)工事予算

568 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手(予定)年月日

- イ 神奈川県藤沢市城南から神奈川県茅ヶ崎市下町屋まで
昭和56年 9月11日
- ロ 神奈川県茅ヶ崎市下町屋から神奈川県茅ヶ崎市柳島まで
平成 3年 5月27日
- ハ 神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで
平成18年10月 1日
- ・ なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、
各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業
引継ぎを受ける予定年月日をいう。

工事の完成(予定)年月日

- イ 神奈川県藤沢市城南から神奈川県茅ヶ崎市下町屋まで
昭和63年 3月29日
- ロ 神奈川県茅ヶ崎市下町屋から神奈川県茅ヶ崎市柳島まで
平成 7年12月24日
- ハ 神奈川県茅ヶ崎市柳島から神奈川県中郡大磯町東町まで
平成20年 3月31日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道1号(新湘南バイパス) - 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

一般国道271号(小田原厚木道路)に関する

工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道271号

(有料道路名 : 小田原厚木道路)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県小田原市早川 から
 神奈川県厚木市酒井 まで

(ロ) 延 長 31.7 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 有料道路事業

(ロ) 道路の区分 第 3 種 第 1 級 (道路構造令)
 (既設トンネル除く)

(ハ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県小田原市早川 から 神奈川県中郡大磯町生沢 まで	60	17.5	

別 紙 1

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県中郡 大磯町生沢 から 神奈川県厚木市愛甲 まで	80	13.2	
神奈川県厚木市愛甲 から 神奈川県厚木市酒井 まで	60	1.0	

(二)設計自動車荷重 TL20トン及びTT43トン(1期区間=TL20トン)

(ホ)車線の幅員 3.50 メートル

(ヘ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県小田原市早川 から 神奈川県厚木市酒井 まで	4 車線	4 車線	

(ト)路肩の標準幅員

(単位:メートル)

神奈川県小田原市早川から神奈川県中郡大磯町生沢まで

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	0.75×2	1.50	—	—	—	
トンネル部分	—	—	0.50 (0.30)	0.50 (0.30)	1.00 (0.60)	
橋梁高架部分 (中小橋)	0.75×2	1.50	—	—	—	
橋梁高架部分 (長大橋)	0.75×2	1.50	—	—	—	

()内は既設トンネル

別 紙 1

(単位:メートル)

神奈川県中郡大磯町生沢から神奈川県厚木市愛甲まで

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	0.75×2	1.50	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 (中小橋)	0.75×2	1.50	—	—	—	
橋梁高架部分 (長大橋)	0.75×2	1.50	—	—	—	

(単位:メートル)

神奈川県厚木市愛甲から神奈川県厚木市酒井まで

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	0.75×2	1.50	—	—	—	
トンネル部分	—	—	—	—	—	
橋梁高架部分 (中小橋)	0.75×2	1.50	—	—	—	
橋梁高架部分 (長大橋)	0.75×2	1.50	—	—	—	

(チ)中央帯の標準幅員

1.30 メートル

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
一般国道1号 (小田原箱根道路)	神奈川県 小田原市風祭	立体接続	小田原西インターチェンジ
一般国道1号	神奈川県 小田原市風祭	立体接続	小田原西インターチェンジ
小田原市道0024号線	神奈川県 小田原市板橋	立体接続	小田原西インターチェンジ
一般国道1号 (西湘バイパス)	神奈川県 小田原市風祭	立体接続	小田原西インターチェンジ
小田原市道0029号線	神奈川県 小田原市荻窪	立体接続	荻窪インターチェンジ
一般国道255号	神奈川県 小田原市成田	立体接続	小田原東インターチェンジ
二宮町道81号線	神奈川県中郡 二宮町中里	立体接続	二宮インターチェンジ
二宮町道80号線	神奈川県中郡 二宮町中里	立体接続	二宮インターチェンジ
大磯町道幹27号線	神奈川県中郡 大磯町生沢	立体接続	大磯インターチェンジ
神奈川県道 平塚秦野線	神奈川県 平塚市片岡	立体接続	平塚インターチェンジ
神奈川県道 伊勢原藤沢線	神奈川県 伊勢原市上平間	立体接続	伊勢原インターチェンジ
神奈川県道愛甲 石田停車場酒井線	神奈川県 厚木市愛甲	立体接続	厚木西インターチェンジ
一般国道271号	神奈川県 厚木市酒井	立体接続	厚木西インターチェンジ
第一東海自動車道	神奈川県 厚木市酒井	立体接続	厚木インターチェンジ

(4)工事予算

230 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

平成 4 年 8 月 18 日

工事の完成(予定)年月日

平成 8 年 3 月 26 日 (平塚料金所、小田原料金所、荻窪IC)

平成 11 年 6 月 17 日 (大磯駐車場)

平成 11 年 8 月 22 日 (大磯IC)

平成 20 年 3 月 31 日 (その他工事)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道271号(小田原厚木道路) 59 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)
(神奈川県海老名市中新田から東京都あきる野市牛沼まで)に関する
工事の内容並びに工事に要する費用に係る債務引受限度額**

別 紙 1

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道468号

(有料道路名 : 首都圏中央連絡自動車道(海老名北～久喜白岡))

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 神奈川県海老名市中新田 から

東京都あきる野市牛沼 まで
(あきる野インターチェンジを含まない)

(ロ) 延 長 36.1 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分

神奈川県海老名市中新田から東京都八王子市南浅川町まで 第1種第2級(道路構造令)

東京都八王子市南浅川町から東京都あきる野市牛沼まで 第1種第3級(道路構造令)

(ハ) 設計速度

設 計 区 間	設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
神奈川県海老名市 中新田 から 東京都八王子市 南浅川町 まで	100	24.9	
東京都八王子市 南浅川町 から 東京都あきる野市 牛沼 まで	80	11.2	

別 紙 1

(二)設計自動車荷重 25トン (B活荷重)

(ホ)車線の幅員

設 計 区 間	車線の幅員 (メートル)	摘 要
神奈川県海老名市中新田 から 神奈川県厚木市上依知 まで	3.50	
神奈川県愛甲郡愛川町中津 から 東京都八王子市南浅川町 まで	3.50 3.75	追越車線
東京都八王子市南浅川町 から 東京都あきる野市牛沼 まで	3.50	

(ヘ)車線数

設 計 区 間	工事施工	用地買収	摘 要
神奈川県海老名市 中新田 から 東京都あきる野市 牛沼 まで	4 車線	4 車線	

(ト)路肩の標準幅員

神奈川県海老名市中新田から神奈川県厚木市上依知まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	2.50×2	5.00	—	—	—	
トンネル部分	—	—	1.00	1.00	2.00	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50×2	5.00	2.50	1.25	3.75	

別 紙 1

神奈川県愛甲郡愛川町中津から東京都八王子市南浅川町まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	—	—	3.00	1.75	4.75	
トンネル部分	—	—	3.00	1.75	4.75	
橋梁高架部分 (中小橋)	—	—	3.00	1.75	4.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	—	—	3.00	1.25	4.25	

東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市裏高尾町まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	—	—	1.75	1.00	2.75	
トンネル部分	—	—	0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	—	—	1.75	1.00	2.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	—	—	1.75	1.00	2.75	

東京都八王子市裏高尾町から東京都あきる野市牛沼まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工(掘割)部分	—	—	2.50及び 1.75	1.25及び 1.00	3.75及び 2.75	
トンネル部分	—	—	0.75	0.75	1.50	
橋梁高架部分 (中小橋)	—	—	2.50及び 1.75	1.25及び 1.00	3.75及び 2.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	—	—	1.75	1.00	2.75	

別 紙 1

(チ)中央帯の標準幅員

設 計 区 間	中央帯標準幅員 (メートル)	摘 要
神奈川県海老名市中新田 から 東京都八王子市南浅川町 まで	4.50	
東京都八王子市南浅川町 から 東京都あきる野市牛沼 まで	3.00	

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の 路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
第一東海自動車道	神奈川県海老名市 中新田	平面接続	本線
市道53号	神奈川県海老名市 中新田	立体接続	海老名北インターチェンジ(仮称)
一般国道246号 (厚木秦野道路)	神奈川県厚木市 中依知	立体接続	圏央厚木インターチェンジ(仮称)
一般国道129号	神奈川県厚木市 中依知	立体接続	圏央厚木インターチェンジ(仮称)
一般国道129号	神奈川県 相模原市当麻	立体接続	相模原インターチェンジ(仮称)
県道相模原町田線	神奈川県 相模原市当麻	立体接続	相模原インターチェンジ(仮称)
都市計画道路 城山津久井線 (津久井広域道路)	神奈川県津久井郡 城山町小倉	立体接続	城山インターチェンジ(仮称)
一般国道20号	東京都八王子市 南浅川町	立体接続	八王子南インターチェンジ(仮称)
中央自動車道	東京都八王子市 裏高尾町	立体接続	八王子ジャンクション(仮称)
都市計画道路 八3・4・67	東京都八王子市 美山町	立体接続	八王子北インターチェンジ(仮称)
一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道	東京都 あきる野市牛沼	平面接続	本線

(4)工事予算

2,555 億円

別 紙 1

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手(予定)年月日

イ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県厚木市上依知まで
平成15年 6月20日

ロ 神奈川県厚木市上依知から東京都八王子市南浅川町まで
平成23年 4月 1日

ハ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市裏高尾町まで
平成17年10月 1日

ニ 東京都八王子市裏高尾町から東京都あきる野市牛沼まで
平成17年 9月 1日

・ なお、合併施行方式における工事の着手予定年月日とは、
各区間の全ての範囲について、会社が公共事業者から事業
引継ぎを受ける予定年月日をいう。

工事の完成(予定)年月日

イ 神奈川県海老名市中新田から神奈川県厚木市上依知まで
平成23年 3月31日

ロ 神奈川県厚木市上依知から東京都八王子市南浅川町まで
平成25年 3月31日

ハ 東京都八王子市南浅川町から東京都八王子市裏高尾町まで
平成22年 3月31日

ニ 東京都八王子市裏高尾町から東京都あきる野市牛沼まで
平成18年11月30日

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道468号(首都圏中央連絡自動車道)(海老名北～あきる野) 16,769 百万円)

(暫定協定第4条第1項及び第5条第1項関連)

(機構法第13条第1項第2号及び3号に定める協定記載事項)

**一般国道475号(東海環状自動車道)に関する
工事の内容 並びに 工事に要する費用に係る債務引受限度額**

1. 工事の内容

(1) 路線名

一般国道475号

(有料道路名 : 東海環状自動車道)

(2) 工事の区間

(イ) 工事の区間 愛知県豊田市岩倉町 から
岐阜県関市下有知 まで

(ロ) 延 長 73.0 キロメートル

(3) 工事方法

(イ) 事業方式 公共事業・有料道路事業 合併施行方式

(ロ) 道路の区分 第 1 種 第 2 級 (道路構造令)

(ハ) 設計速度

設 計 区 間		設計速度 (キロメートル/時)	延 長 (キロメートル)	摘 要
愛知県豊田市岩倉町	から	100	73.0	
岐阜県関市下有知	まで			

別 紙 1

(二)設計自動車荷重 25tf (B活荷重)

(ホ)車線の幅員 3.50メートル

(ヘ)車線数

設 計 区 間		工事施工	用地買収	摘 要
愛知県豊田市岩倉町	から	4 車線	4 車線	
岐阜県土岐市泉町久尻	まで			
岐阜県土岐市泉町久尻	から	2 車線	4 車線	
岐阜県関市下有知	まで			

別 紙 1

(ト)路肩の標準幅員

愛知県豊田市岩倉町から岐阜県土岐市泉町久尻まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	
トンネル部分	—	—	1.75	1.25	3.00	
橋梁高架部分 (中小橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	
橋梁高架部分 (長大橋)	2.50 × 2	5.00	2.50	1.25	3.75	

岐阜県土岐市泉町久尻から岐阜県関市下有知まで

(単位:メートル)

構造による区分	往復分離しない区間		往復分離する区間			摘 要
	左 側	計	左 側	右 側	計	
土工部分	1.75 × 2	3.50	—	—	—	
トンネル部分	1.75 × 2	3.50	—	—	—	
橋梁高架部分 (中小橋)	1.75 × 2	3.50	—	—	—	
橋梁高架部分 (長大橋)	1.75 × 2	3.50	—	—	—	

(チ)中央帯の標準幅員

4.50 メートル

(リ)他の道路との接続位置及び接続の方法

他の道路の路線名	接続の位置	接続の方法	備 考
第二東海自動車道 横浜名古屋線	愛知県豊田市岩倉町	立体接続	豊田東ジャンクション
一般国道301号	愛知県豊田市古瀬間町	立体接続	豊田松平インターチェンジ
一般国道153号	愛知県豊田市勘八町	立体接続	豊田勘八インターチェンジ
県道藤岡インター線	愛知県豊田市西中山町	立体接続	豊田藤岡インターチェンジ
一般国道248号	愛知県瀬戸市鐘場町	立体接続	せと赤津インターチェンジ
県道瀬戸設楽線	愛知県瀬戸市門前町	立体接続	せと赤津インターチェンジ
県道日進瀬戸線	愛知県瀬戸市巡間町	立体接続	せと赤津インターチェンジ
一般国道363号	愛知県瀬戸市上品野町	立体接続	せと品野インターチェンジ
県道ハイテクロード 南北線	岐阜県土岐市土岐津町	立体接続	土岐南多治見インターチェンジ
中央自動車道 西宮線	岐阜県土岐市泉町久尻字丸石	立体接続	土岐ジャンクション
一般国道21号	岐阜県可児市柿田	立体接続	可児御嵩インターチェンジ
一般国道41号	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋	立体接続	美濃加茂インターチェンジ
県道関金山線	岐阜県加茂郡富加町加治田	立体接続	富加関インターチェンジ
東海北陸自動車道	岐阜県関市下有知	立体接続	美濃関ジャンクション

(4) 工事予算

1,505 億円

(5) 工事の着手および完成の予定年月日

工事の着手年月日

平成13年 1月18日

工事の完成(予定)年月日

イ 平成17年 3月18日 (豊田東JCT～美濃関JCT)

ロ 平成20年 3月31日 (五斗蒔PA)

ハ 平成21年 3月31日 (付加車線)

ニ 平成24年 3月31日 (豊田東JCT・額田側ランプ)

ホ 平成32年 3月31日 (せと赤津IC,PA・県道日進瀬戸線)

2. 工事に要する費用に係る債務引受限度額(平成17年度下半期分)

- 億円(うち、債務引受基準額 - 億円)

(平成17年度下半期工事費 一般国道475号(東海環状自動車道) 2,872 百万円)